



勇猛精進



常磐同窓会会長
梶原雅仁

ビッグチャンスが、手の届くところにあるかもしれない。皆様方の活躍を祈念しております。

卒業生諸君

卒業おめでとう。そして、常磐同窓会の入会を歓迎いたします。人生で最も多感な大事な時期に、帯広三条高校で過ごして多くの経験をして来たと思います。帯広三条高校は、本年創立百周年を迎えます。本年の卒業生二百七十七名を加えて二万七千七百七十七名輩出し、歴史と伝統を繋いできました。時間の経過が歴史と伝統を築くではありません。そこには、脈々と受け継がれて来た「帯広三条魂」が根底に流れています。そこに、卒業生の皆さんがこれから、新たな一ページを刻んでくれることになります。これからの人生は、自分達の手で切り拓いて行くことになりま

す。「勇猛精進」で、挑戦を続けて下さい。諸君は、皆平等に大きな可能性を持ち、若

さに溢れています。創立百周年の慶びを同窓生の皆様と共に祝いしたいと思います。「帯広三条魂」を胸に秘めて、活躍されることを祈っています。頑張った人には、頑張った答えが必ず付いてきます。諸君の健闘を祈ります。

道



卒業生代表
松原純菜

初めて自分の意志で選んだ道が「三条高校に通う」というものでした。親の反対を押し切りながらも受験し、奇跡的に受かり、三年間の高校生生活を三条高校で過ごすことができました。「勉強」という

二文字しかないと思っていた高校生活が、色彩やかでかけがえのない大切な時間へと変わりました。毎日が充実していて、学校へ行く事がとても楽しみでした。落ち込んでいたときでも、学校に行けば相談に乗ってくれるクラスの皆や友人、励ましの声をかけてくれる先生方がいる。三条高校は私に元気をくれる、そんな場所でした。

生徒会長に立候補したときはただの「好奇心」でした。生徒会長として仕事をするたび、想像よりも辛く大変だということを実感しました。何度かやめたいと思った私を支えてくれたのは家族や多くの仲間達、そして先生方でした。私一人では決して出来ない事ばかりでした。支えてくれた方達へ恩返しをしたいと考え、生徒会活動一つ一つに真剣に取り組むようになりました。高校生活最後の三条祭での閉祭式。ステージ上からたくさんの方の笑顔と涙を見た時、喜びと嬉しさでいっぱいになりました。皆からのメッセージを貰った時は、涙が溢れるのを必死で堪えながら「生徒会長をやった良かった、三条に入って良かった」と強く思いました。

私は三条高校で物事に真剣に取り組む楽しさや困難を乗り越えた時の達成感などを知ることができました。その事は私だけでなく、三条生全員が知っていると思います。この楽しさを知り、共有できる素敵な仲間に出会えて本当に良かったです。そんな素敵な生徒がいる三条高校の生徒会長を務めることができたことを誇りに思っています。自分の意志で選んだ道がここであ

総会報告

昨年六月五日にホテル日航ノースランド帯広にて、平成二十六年度の総会が開かれました。梶原会長挨拶の後、平成二十五年度の事業報告・決算についての説明があり、監査報告後に承認されました。続いて平成二十六年度事業計画と予算案を審議し、承認されました。また四十期・四十一期の新年懇親パーティーの代表幹事の方々から報告と挨拶をいただきました。総会終了後、懇親会が開かれ、昔を懐かしく思い出しつつ、和やかに親睦を深めることができました。総会は毎年六月中旬に開催しておりますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

発行
080-2473
帯広市西23条南2丁目12番地
帯広三条高校内
TEL (0155) ⑦5501
常磐同窓会公式ホームページ
<http://sanjo-tokiwa.com/>
帯広三条常磐同窓会
会長 梶原雅仁
編集 深澤知博
文化・体育部 香川喜
事務局

三條高校の二世紀に向けて



校長 橋本達也

梶原会長様をはじめ、常磐同窓会の皆様には、本校生徒の様々な活動に對し変わらぬご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

また、金澤会長様のものとに百周年記念事業協賛会が立ち上げられ、今年の記念事業に向けた準備が本格化されております。役員の皆様はそれぞれ重要な役職を担われ、日々多忙を極められているにもかかわらず、精力的に活動していただいておりますが、それもひとえに、三条高校に対する深い愛着と後輩達に対する熱い期待ゆえと感じます。大変心強く思うと同時

に、生徒達をお預かりしている教職員に課せられた責任を改めて痛感しております。

常磐同窓会の皆様には、生徒達の学習・部活動等に物心両面で援助頂いておりますが、中でも、同窓会による奨学金制度は全道的にも珍しく、本校の素晴らしい伝統の代表として誇りに感じております。昨年、放送局がNHKコンクールで全国優勝したラジオ番組組のテーマが「現在の奨学金制度に潜む大きな問題点」の提起でしたが、本校の生徒・顧問だからこそ思いつく内容であったのではないかと考えてお

ります。皆様からの援助を無駄にすることなく、今後も社会に貢献する逞しい人材を輩出していかなければならないと決意しております。

改めて、百周年事業に関わる様々な活動に對し、お礼を申し上げます。今後、皆様には更なるご尽力を頂くものと思えます。我々教職員一同、三条高校が二世紀という新たな歴史を歩み、今後とも本校がより一層発展していくことを期して全力で取り組んで参ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

新職員より

理科教諭
白畑 康幸

今年度、苫小牧西高校より赴任して参りました。二年生担任、女子バレー部、理科の地学を担当しております。久々の進学校で錆びついた頭に刺激を受ける日々を過ごしています。

勉強にも部活にも力を入れる素晴らしい生徒のために、頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

国語科教諭
吉田 知己

地元十勝で母校の教壇に立つことに身の引き締まる思いで赴任してきました。

かつての自分たちがそうであったように、生徒たちが充実した高校生活を送り、三条生でよかったという実感を持てるよう、今までの経験を生かし、全力を尽くしていきたいと考えています。よろしく願いいたします。

数学科教諭
池田 昭仁

隣町の池田高校から赴任して参りました。帯広の森野球場

数学科教諭
上田 あや

で三条の全校応援を見る度に羨ましく感じていました。壮行会等での一体感のある応援に触れ、三条サイドに来たのだな、と実感しているところです。微力ながら、生徒の進路実現のため力を尽くしたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

函館稜北高校より赴任して参りました。三条高校は学業だけでなく部活動にも力を入れている素晴らしい学校であると道南でも有名でした。このような学校で勤務できることを大変光栄に感じております。これから三条高校の力に少しでもなれるように頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

事務主任
高橋 一宙

赴任初日、緊張しながら玄関に向かう私に部活動中の生徒たちが元気に爽やかに挨拶をしてくれました。足取りも心も軽くなり、仕事を始めてからじき一年。勉強・部活に励む姿はいつまでも新鮮で、刺激と力を与えてくれます。三条に勤務できる幸せを胸に、生徒の役に立てよう努力いたします。どうぞよろしくお願い致します。

退職者より



理科教諭

小暮 秀俊

ニラツルシ・入印

ロッカーを整理していたら、昔、物理準備室にあった帯広周辺の古い地図が数枚出てきました。

三条高校の北側を流れる大成川は、パンケチペエカメム（下流側のそこで舟を廻す泉池？）でした。パンケのほうは、つつじ川でしょうか。

帯広川を少し遡ると、意味は分かりませんが、ニラツルシという地名がありました。境橋付近の崖のあたりででしょうか。次の地図では漢字で「入印」でしたが、大正以降の地図では消えました。

その後、職員室の住宅地図で大成川の上流部（芽室町）にニウジルシ川を発見。地名の移動なのか、こちらが地名発祥の地なのか、疑問が残りました。

上流の日甜に向かつて走ってみました。地名の意味がわからないので収穫はありませんでした。

しかし、いつか誰かがこの地名の意味を解いてくれるでしょう。未来は過去を解き明かすことができるはずですが、たくさんある謎を若い人たちに解明してもらいたいと思います。



数学科教諭

白戸 俊一

このたび定年退職を迎えることとなりました。

三十余年を振り返ってみますと、後悔や失敗は数々ありましたが、それぞれの学校で周りの人たちに支えられて、自分としてはまずまず良い教員生活を送ることができたと思います。

特に、教員生活の最後に三条高校の皆さんに出会うことができたのは私にとって大きな喜びでした。三条生は真面目で誠実であり、毎日学習と部活動に熱心に取り組んでいる姿は本当に素晴らしいと思います。私も教師として楽しい日々を過ごすことができました。

お世話になった先生方と生徒諸君に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

活躍する各部

「眠気と戦いながら」



放送局

松下 春香

入部から引退まで、あつという間でした。様々な動画作り、朝四時出発の取材、三条祭の撮影、深夜の編集作業、

局室でおかしを食べながらのおしゃべり、全国優勝……。全て良い思い出です。支えてくださった方々のおかげで、三年生四人はがんばれました。ありがとうございました。これからも放送局を応援してください。

「仲間」

アーチエリー部
行場 聖悟

アーチエリーという競技を通して、たくさん仲間と出会い、学校内、道内、そして全国各地の仲間。そんな仲間と一緒に切磋琢磨し笑い合った時間は、本当に大切な思い出です。また、アーチエリー部は多くの方の支えや理解があるからこそ活動できています。本当に感謝しています。

今後アーチエリー部をよろしく願います。

「恩返し」

野球部
森川 快刀

三年間でやり残したことは、甲子園出場。親や先生方への恩返し、そして目標を達成したい自分たちのためにも、叶えなかったのが正直な思いです。しかし終わってから後悔しても仕方ありません。これからは未来に向かつて前だけを見て、毎日ボールを追いかけた高校野球を胸に、社会で活躍していきたいと思っています。

「感謝の気持ち」

女子バスケット部
佐々木麻衣

私は女子バスケット部でたくさんの経験をしました。意見が食い違う時もありましたが、話し合いで解決することがチームの絆を深めることが出来ました。その結果として大会で勝った時はとても嬉しかったです。また、私達がバスケットに打ち込めたのは、両親や顧問の先生、応援してくれた友人の支えがあつてこそだと思います。たくさんの方に感謝の気持ちでいっぱい입니다。ありがとうございました。

信じてよかった

合唱部
中居 沙耶

「三年間続けたら絶対に後悔させない」豊田先生の言葉に信じて合唱部に入部しました。たくさんの方々に支えられ、全国の舞台に七回も立つことができました。何より一生ものの仲間に出会えた。今ではそのすべてが私の財産です。三条合唱部でしか出来ない経験も多く、そんな素敵な部の部長であれたことを誇りに思います。ありがとうございました。

同窓会 この一年

- 4月30日 同窓会奨学生決定
5月14日 同窓会奨学生認証式(20名)
5月 8日 役員会(とかち館)
6月 5日 総会並びに懇親パーティー
(ホテル日航ノースランド帯広)
6月～ 全道・全国大会出場の部活動に援助
9月 会費納入案内・会報発送

- 8月 3日 同窓会ゴルフ大会(於:帯広国際CC)
1月15日 新年懇親パーティー
(幹事:第41期生、平成3年3月卒)
3月 1日 同窓会新聞・常磐木発行
同窓会入会式(第65期生入会)

※上記以外に、各地で支部の活動や部活動OB会の活動が行われています。

部活動の活躍（2014年度）

バレーボール部	高体連地区 男子準優勝 女子予選トーナメント進出 選手権全道 男子ベスト8 選手権地区 女子出場 新人戦地区 男子優勝 女子出場 新人戦全道 男子準優勝
バスケット部	北海道大会 男子3位 女子優勝 高体連全道 男子ベスト16 女子ベスト8 選抜優勝大会地区 男子3位 選手権大会地区 男子準優勝 新人戦地区 男子準優勝 新人戦全道 男子ベスト16
ハンドボール部	高体連全道 男子準々決勝進出 女子3位 新人戦全道 男子出場 女子出場
テニス部	高体連地区 男子団体戦準優勝・男子個人戦ダブルス（1ペア3位、1ペアベスト8）・シングルス準優勝 高体連全道 男子団体戦出場・男子個人戦ダブルス出場・シングルスベスト16 国体予選全道 男子個人戦シングルス出場 新人戦地区 男子個人戦シングルス優勝 女子団体戦3位 新人戦全道 男子個人戦シングルス出場 女子団体戦出場
バドミントン部	高体連地区 男子団体戦準々決勝進出 女子団体戦3位 新人戦地区 男子団体戦3位・男子個人戦ダブルス7位 女子団体戦出場・女子個人戦ダブルス6位 新人戦全道 男子団体戦2回戦進出
卓球部	高体連地区 男子団体戦準優勝・男子個人戦ダブルス5位 女子個人戦ダブルス3位 高体連全道 男子団体戦2回戦進出・男子個人戦ダブルス出場 女子個人戦シングルス3回戦進出 国体予選全道 男子個人戦シングルス4回戦進出・女子個人戦シングルス3回戦進出 新人戦全道 男子個人戦ダブルス出場 男子団体戦2回戦進出
ソフトテニス部	高体連地区 男子団体戦出場・男子個人戦ダブルス優勝 女子団体戦準優勝・女子個人戦ダブルス（1ペア4位・1ペアベスト8） 高体連全道 男子個人戦ダブルス出場 女子団体戦2回戦進出・女子個人戦ダブルス3回戦進出 国体予選全道 男女個人戦ダブルス出場 新人戦地区 男子団体戦4位・男子個人戦シングルス優勝、3位・ダブルス2ペアベスト8 女子団体戦出場・女子個人戦シングルスベスト4、ベスト8・ダブルス3位 新人戦全道 男子個人戦シングルス3回戦進出・ダブルス2回戦進出 女子個人戦シングルス2回戦進出・ダブルス2回戦進出
アイスホッケー部	北・北海道選手権地区 4位 NHK杯地区 4位 全十勝 出場 高体連全道 出場 ※十勝連合として出場
陸上部	高体連地区 男子棒高跳優勝 高体連全道 男子200m準決勝進出 他20名出場 新人戦全道 12名出場 国体全道 男子110mH 8位入賞
剣道部	高体連地区 男子団体出場 女子団体準優勝 新人戦地区 男子団体3位・男子個人4位 女子個人ベスト8 新人戦全道 男子個人1名出場
野球部	高野連選手権地区 2回戦進出 高野連秋季全道 2回戦進出
アーチェリー部	高体連全道 男子団体戦優勝・個人戦優勝、3位 女子団体戦準優勝・個人戦優勝、4位 インターハイ 男子団体戦7位・個人戦40位、41位 他2名出場 女子個人戦1名出場 国民体育大会全国 少年男子団体戦8位・個人戦24位 少年女子団体戦出場・個人戦26位 ターゲットアーチェリー全国 男子個人出場 選抜大会全国 男子2名、女子2名出場
サッカー部	高体連地区 3位 選手権大会全道 出場 フットサル選手権地区 ベスト8 プレイヤーズカップ全十勝高校フットサル大会 3位 高円宮杯道東ブロックリーグ（1部）5位
スケート部	スピード インターハイ 男子500m7位 女子500m5位 男子2000mリレー2位 全日本ジュニア全国 女子チームパシュート2位 フィギュア インターハイ 61位
ソフトボール部	高体連地区 出場
吹奏楽部	北海道吹奏楽コンクール高校A編成 銀賞 高文連全道 吹奏楽部門2位（優秀賞） 北海道アンサンブルコンクール 管楽器個人出場 クラリネット8重奏出場
合唱部	全国総合文化祭 合唱部門出場 高等学校文化連盟賞 NHK全国学校音楽コンクール 優良賞 全日本合唱コンクール 銀賞
美術部	高文連全道 全道優秀作品2名 他3名出品
書道部	高文連全道 北海道高等学校文化連盟賞2名（次年度全国総合文化祭出品1名） 国際選抜書展 秀作賞2名 入選4名 北海道学生書道展 北海道新聞社賞1名 特選7名
華道部	高文連地区 研修会参加
演劇部	高文連支部 演劇ゼミナール参加・演劇発表大会出場・優良賞・十勝支部代表生徒講評委員選出 高文連全道 十勝支部代表生徒講評委員参加
フィールドサイエンス部	高文連全道 理科学研究発表大会 出場
写真部	高文連全道 入選1名、佳作1名
茶道部	高文連支部 野点研修会参加 茶会研修会参加
図書局	高文連全道 図書館報コンクール優良賞
放送局	NHK杯全国高校放送コンテスト ラジオドキュメント部門優勝・TVドキュメント部門優秀賞 全国総合文化祭 ビデオメッセージ部門参加 高文連全道 放送コンテスト ビデオメッセージ部門優勝（次年度全国総合文化祭に推薦）・ラジオ番組部門3位・総合賞2位
（個人）	
水泳	高体連全道 男子自由形200m3位・200m個人メドレー2位・400m個人メドレー優勝 女子自由形200m3位 インターハイ 男子自由形200m出場・200m個人メドレー出場・400m個人メドレー出場 女子自由形200m出場
自転車	高体連全道 3kmパシュート優勝・8kmスクラッチ16kmポイントレース準優勝 インターハイ 個人ロードレース14位 国民体育大会全国 個人ポイントレース15位
（その他）	北海道高等学校英語弁論大会 出場 北海道読書感想文コンクール 特別賞（北海道知事賞） 青少年読書感想文全国コンクール サントリー奨励賞

●各支部の近況●

札幌常磐会

ご卒業おめでとうございます。高校生活で得られた知恵や知識はこれからのベースになるものです。きつと恩師の教えに感謝する思いになると確信しております。私達「札幌常磐同窓会」は三千人を越える道央圏に居住する卒業生が参加しております。毎年総会を開く事を目標としております。総会には公務多忙にも関わらず駆けつけていただく上田文雄札幌市長（昭和四十二年卒業）をはじめ中川義雄元参議院議員（昭和三十一年卒業）相馬秋夫元道立近代美術館長等多くの諸先輩の参加を得て盛り上げていただいております。懇親会ではゲームをしたり喉自慢を聞いたり楽しい時間を過ごします。さらにゴルフコンペや三柏対抗戦を行っております。

今年は開校百周年の年であります。数多くの記念事業が予定されておりますが少しでもお手伝い出来ればと思っております。

卒業して新しく同窓の仲間となる皆さんを歓迎するとともに母校の発展に貢献して行きたいと気持ちを新たにしております。

会長 関 寛氏

札幌市中央区北一条東三丁目三番地

中道リース株式会社

☎ 〇一一二八〇一二二六六

FAX 〇一一二八〇一二二七

E-mail: h_seki@nakamichi-leasing.co.jp

事務局 石川雅啓氏

札幌市豊平区平岸一条二丁目四番地二十五

株式会社 いしかわ不動産鑑定事務所

☎ 〇一一八七七一七六六六

FAX 〇一一八七七一七六六六

E-mail: ishikawa@ishikawakane.jp

幕別三条会

幕別三条会の平成二十六年総会は平成二十六年三月一日札幌市内地区で開催しました。

久しぶりに会う先輩、同期、後輩、みんなで近況報告したあと懇親会へと移行し話に華を咲かせました。

懇親会後半では素晴らしい景品の当たるゲームで盛り上がり、最後に校歌斉唱して楽しく総会を終了し、二次会へ向かいました。

総会では「中間期でも懇親会を開催してはどうか？」など、会の拡大に向けた意見が出され前向きに考えたいと思いました。

三条生の皆さんには三条魂を胸に秘めて、これから色々な場所で活躍して頂くことを心から願いました。

平成二十七年は、ひつじ年、全ての物事が「ウメエー」事行くよう、がんばらん「ベエー」（笑）

三条生、常磐会、又関係者一同の益々の御繁栄、御健勝を心から祈念申し上げ、報告と致します。



会長 大上雄司氏

幕別町札幌あかしや町六一二七

☎ 〇一五五一五六一六四〇四

事務局 妹尾 真氏

幕別町新町二二二二三

☎ 〇一五五一五五二九八二

帯広三条・東京常磐会

東京帯広三条会は創設三十周年を迎えました。母校・三条高校への思いは熱く最近の三・四年間は毎年のように参加者が増え続けてきました。そして、H二十六年十一月八日の記念同窓会の参加者は百十名の大会を超えました。裾野はさらに広がります。

例年同様三条高校合唱部の芸術的演奏に合わせて一同「校歌」を斉唱。胸の奥が熱くなるのを感じながら三十周年の重みを噛みしめました。

懇親会では、文学座の舞台で活躍する平淑恵さんやシンガーソングライターを目指す青山みづ紀さんらが素敵なタレント性を発揮し会場を盛り上げてくれました。また会員たちもそれぞれに世代を超えた繋がりが生まれ大いに会場を回遊しながら交流を広げていました。そして今年も橋本達也新校長、梶原常磐会会長、谷脇幹事長、仁木組織部長、香川事務局長の皆様にご出席戴き、百周年記念式典への出席を呼び掛けてくださいました。また現役の合唱部や放送局が全国大会で受賞した作品群を東京の仲間とともに観賞して頂きました。

なお、NHK全国コンクールで優勝した放送局には東京三条会から「奨励金」を送りました。「三十歳」に成長した東京三条会は今後もこうした奨励活動が続いていきたいと考えています。

〈文責〉・多田 護

会長 多田 護氏

千葉県千葉市美浜区

真砂三丁目十八ー一三〇一

☎ 〇四三二二七八ー一二〇一

☎ 〇四三二二七七ー七九〇四

事務局 伊賀雄史氏（幹事長）

東京都中央区日本橋室町一丁目

五番十五号昇賢ビル三階

伊賀事務所内

☎ 〇三一六二一四一五五五

東京定時制常磐会

会長 森下芳夫氏

東京都小平市天神町二丁目

十五ー三二二〇二

☎ 〇四二一三四七二二九二

道庁常磐会

会長 山本武雄氏

札幌市中央区大通東九丁目

一十九ー三〇七

☎ 〇一一二四二二一三八六

三条姉妹常磐会

芽室常磐会

平成二十五年十一月二十六日に参加者十九名のもと芽室常磐会総会が開催されました。本年度の総会では役員改選が実施され提案された新役員案は、満場一致にて承認されました。

平成二十六年年度の事業といたしまして昨年同様、冬と夏に事業を実施いたしました。

冬の事業として二月二十一日に第二回目となるボウリング大会&新年会を開催いたしました。日頃の運動不足を解消しながらのボウリングを楽しんだ後、参加者一同で有意義な

帯広の夜を満喫いたしました。

夏の事業は、七月二十日に芽室公園にて焼肉親睦会を開催いたしました。準備していたお酒も数時間でなくなり追加をしながら野外懇親会となりました。

そして、平成二十六年十二月二日駿河屋食堂にて平成二十七年年度の総会を参加者二十四名と過去最多の出席をいただき総会を開催いたしました。併せて、総会では北海道帯広三条高等学校創立百周年事業へのご協力をお願いいたしましたして総会を閉会いたしました。今回は、総会時の集合写真を掲載いたしました。

会長 竹内 聡氏

河西郡芽室町中伏古六線三十三

☎ 〇一五五一六五二二七五八

事務局 江崎 満氏

芽室町東三条三丁目八

☎ 〇九〇一八九〇八一三四八一



春宵一刻

第四十一期代表幹事

長 屋 正 宏

平成二十七年一月十五日、第四十一期が当番幹事を務める『常磐同窓会二〇一五年新年懇親パーティー』が開催されました。オープニングは、吹奏楽部OB、OGによる「ピースメーカー」の生演奏でスタートし、開会宣言の後、校歌斉唱でも吹奏楽部の生演奏で校歌を斉唱しました。続いて、同窓会会長挨拶、来賓祝辞、祝宴と進んでいきました。

祝宴の最中、「春宵一刻」と題した映像を放映しました。冒頭部分は、首都圏に十勝の価値を発信するために製作されたミュージックビデオ『とかちのかち〜愛と大地のメロディー〜』を使わせていただきました。このビデオの制作には三条高校も協力していて映像と共に流れる曲は合唱部が歌っています。中盤以降は私たち四十一期が学校の図書室や記念館などで集めた過去の卒業アルバムや記念誌などを基に今年、創立百周年を迎えた母校と共に百年の歴史を振り返る映像としました。皆様方が過去を思い出す良い機会になったのではないかと思います。

その後、毎年恒例の大抽選会では、沢山の商品を用意し趣向を凝らし、皆様に

楽しんでいただけたと思います。

そして応援団による「拍手」と「応援歌第一」で、会場の雰囲気は一気に最高潮に達し、最後に万歳三唱で盛会のままと終了することができました。

私たち四十一期生は懇親パーティーの成功に向けて一年あまり準備を進めてまいりました。幾度となく行われた同級生との打ち合わせは、高校時代を蘇らせ友情を温める貴重な機会を与えてくれました。

この事業に関われたことに、そして先輩、後輩、多くの皆様たちとの「人とのつながり」と「出逢い」に心から感謝いたします。

最後に新年懇親パーティー開催に多大なるご協力を頂いた皆様方に感謝申し上げますと共に、創立百周年を迎えた帯広三条高校、そして常磐同窓会の今後益々のご発展と会員皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます。



卒業生の進路(過去3年間)

国公立大学

■道内

●北海道大学
●札幌医科大学
●旭川医科大学
●小樽商科大学
●北海道教育大学
(札幌・岩見沢・函館・旭川・釧路)
●室蘭工業大学
●北見工業大学
●帯広畜産大学
●釧路公立大学
●公立ほこだて未来大学
●札幌市立大学
●名寄市立大学

■道外

●弘前大学
●秋田大学
●岩手大学
●山形大学
●信州大学
●茨城大学
●新潟大学
●埼玉大学
●茨城大学
●東京学芸大学
●富山大学
●千葉大学
●金沢大学
●大阪教育大学
●島根大学

●琉球大学
●静岡県立大学
●首都大学東京
●秋田県立大学
●青森県立保健大学
●都留文科大学
●高崎経済大学
●島根県立大学
●静岡大学
●鳥取大学
●山口大学
●新見公立大学
(その他)

短期大学

■国公立

●名寄市立短大
●秋田公立美術工芸短大
●山形県立米沢女子短大

■私立

●北星学園大学短大部
●北海道武蔵女子短大
●帯広大谷短大
●札幌国際大学短期大学部 (その他)

私立大学

■道内

●北海学園大学
●北星学園大学
●藤女子大学
●北海道医療大学
●天使大学
●北海道薬科大学
●日赤北海道看護大学
●酪農学園大学
●札幌大学
●旭川大学
●北海道文教大学

●北翔大学
●北海商科大学
●札幌学院大学
●札幌大谷大学
●札幌国際大学
●千歳科学技術大学
●札幌保健医療大学
●北海道科学大学
(その他)

■道外

●学習院大学
●青山学院大学
●東京女子大学
●法政大学
●中央大学
●早稲田大学
●明治大学
●明治学院大学
●東京理科大学
●立命館大学
●駒澤大学
●東京家政大学

●同志社女子大学
●京都産業大学
●国立音楽大学
●武蔵野美術大学
●京都外国語大学
●関西外国語大学
●日本大学
●日本体育大学
●京都女子大学
●龍谷大学
●慶応義塾大学
(その他)

高等看護学校

●帯広高等看護学院
●北海道社会事業協会帯広看護専門学校
●北海道医療センター附属札幌看護専門学校
●旭川厚生看護専門学校
●釧路労災看護専門学校
●昭和大学医学部附属看護専門学校
●昭和の森看護学校 (その他)

進 大 学

●防衛学校

常磐同窓会役員

会長	梶原 雅仁 (昭50年卒)
直前会長	山田 英和 (昭41年卒)
副会長	金澤 耿 (昭41年卒)
副会長	松本 健春 (昭48年卒)
副会長	鈴木 慎一 (昭49年卒)
副会長	嶋崎 隆則 (昭50年卒)
副会長	矢吹 定夫 (昭50年卒)
監査	村上 剛章 (昭50年卒)
監査	河合 敏 (昭56年卒)
幹事長	谷脇 正人 (昭59年卒)
総務部長	児玉 康博 (昭56年卒)
厚生部長	高田 浩司 (昭53年卒)
文化体育部長	深澤 知博 (昭50年卒)
学校部長	藤田 篤哉 (昭57年卒)
組織部長	仁木 雄人 (昭58年卒)
事務局次長	香川 喜義 (昭55年卒)
事務局次長	水崎 忍 (昭56年卒)
事務局次長	立浪 哲也 (昭57年卒)
会計	片桐 隆 (事務長)

平成27年3月卒業生(第65期) 同窓会幹事

1組	黒沼 周平 / 齊藤英里紗
2組	久保田 匠 / 鵜橋くるみ
3組	榎本 貢世 / 山岸 舞
4組	森川 快刀 / 澤田 成実
5組	菅原 康仁 / 浦田 里菜
6組	坂本 勇太 / 小松 萌恵
7組	古仲 雄亮 / 松原 純菜

編集後記

「新しき自分を、新しき栄光を、新しき伝統を」を合言葉に、一人一人の将来の夢・希望の実現に向け、日々邁進しております。

同窓会の皆様の格別な御支援を賜り、多くの部・局が全国大会、全道大会で輝かしい成績を残すことができたことを、深く感謝申し上げます。また、原稿の依頼に際しては快くお引き受け頂き、ここに同窓会誌第五十九号を発行できましたことを心よりお礼申し上げます。

次年度三条高校は百周年を迎えます。各記念事業等でご協力頂く機会が多くなると思いますが、今後ともよろしくお願い致します。

常磐同窓会奨学金について

本会では就学困難な在校生徒に對して一人月額八千円(年間九万六千円)(返還の義務は不要)の奨学金を支給しています。(育英会会計より支出)支給人数は二十名程度です。申込みは単年度ごとで、毎年四月上旬に募集し、同窓会学校部を含めた奨学運営委員会において奨学生を決定しております。

同窓会新入会員

男子 122名
女子 155名
合計 277名

同窓会会員総数
27,717名